



FlexFire HILIC

高極性化合物の保持・分離の改善に！！

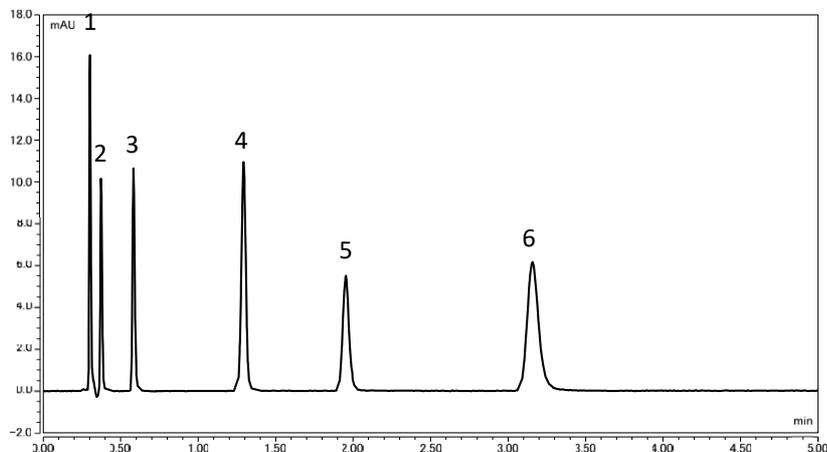
FlexFire HILICは最もシンプルにシリカゲル基材そのものをHILICカラムとして、高極性化合物の保持と分離を達成します。また、HILICは有機溶媒組成リッチでのメソッドを構築するため、LC/MSにおける検出感度の向上が期待できます。従来ではラインナップがなかった1.6 μ mを追加することで、超高速分析による時間の短縮や省溶媒化を実現します。

また、非水系溶媒による順相モードでの分析も可能で、逆相カラムにはない挙動を得ることができます。

洗練されたシリカゲルを採用したFlexFire HILICのスペック

FlexFire HILIC	
粒子径	1.6 μ m, 2.6 μ m, 5 μ m
官能基	—
表面積	340m ² /g
細孔容積	1.0 mL/g
細孔径	11nm
カーボン化 ^①	—
エンドキャップ	なし
使用pH範囲	pH1-5
使用温度範囲	~60°C
使用圧力範囲	
1.6 μ m	800bar (80MPa, 11,603psi)
2.6 μ m	600bar (60MPa, 8,702psi)
5 μ m	300bar (30MPa, 4,351psi)

FlexFire HILICはイオンペア試薬を使用しないメソッドが適用できるため、LC/MSにおいて良好な条件を構築することができます。さらに、1.6 μ mパーティクルを用いることで、わずか数分で目的を達成することが可能となります。



Conditions;

Column: FlexFire HILIC, 1.6 μ m (2.0x50mm)

Mobile phase: Acetonitrile/10mM HCOONH₄, pH3.0=90/10

Flow rate: 0.5mL/min

Detection: UV260nm

Temperature: 40°C

Sample: 1. Acetoaminophene (0.9 μ g/mL)

2. Uracil(8.0 μ g/mL)

3. Bromhexine (48 μ g/mL)

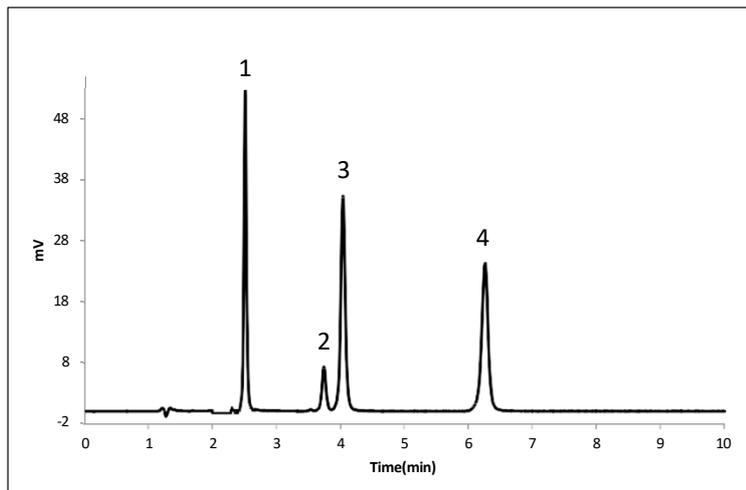
4. Paroxetine (0.5mg/mL)

5. Phenylephrine (1.1mg/mL)

6. Metformine (0.24mg/mL)

Injection volume: 0.16 μ L

順相モードにおけるトコフェロール異性体の分析



Conditions;

Column: FlexFire HILIC 2.6 μ m (2.0x150mm)

Mobile phase: n-Hexane/IPA/CH₃COOH=989/6/5 Flow rate: 0.3mL/min

Temperature: 30°C

Detection: UV295nm

Sample: 1. α -Tocopherol

2. β -Tocopherol

3. γ -Tocopherol

4. δ -Tocopherol

Injection volume: 1.0 μ L

※順相溶媒へ切り替える際にはエタノールやプロパノールを中間溶媒として通液した後に、目的の移動相へ切り替える必要があります。